

公益財団法人群馬県スポーツ協会

平成25年度事業報告

Ⅰ 生涯スポーツの振興に関する事業

1 スポーツの普及啓発に関する事業

(1) 健康スポーツ指導者バンク運営事業

少子高齢化や社会の急激な変化に伴い、県民のスポーツに対するニーズも高度化・多様化をしている。年齢や体力等に応じたスポーツの指導ができる人材の育成及び資質向上を目的とする研修会・講習会を開催するとともに、地域、職域等のニーズに応じた指導者を派遣しスポーツの指導を行い、県民の健康に対する意識の高揚と健康の保持増進を図った。

ア) 健康・体カつくり巡回指導

市町村教育委員会及び各教育事務所へスポーツ指導者の派遣事業を紹介し、地域や職場並びにスポーツ愛好団体等の要請に対してニーズに応じた健康スポーツ指導者バンク登録者を派遣した。

・健康指導者バンク登録者	175人		
・巡回スポーツ指導	県内各地	2,466会場	63,391人
・健康スポーツ指導者指導実績	県内各地	17,941会場	269,267人

イ) 健康スポーツ指導者養成講習会

健康スポーツ指導者を養成するため、20歳以上の一般県民の中で健康スポーツ指導者を志す者や現指導者を対象に4日間(理論8時間・実技16時間)のカリキュラムで講習し資質向上を図った。

期 日 平成26年1月25日(土)～26日(日)、2月1日(土)～2日(日)

会 場 県総合スポーツセンター

受講者数 56人

ウ) 健康スポーツ指導者研修会

健康スポーツ指導者バンク登録者の資質向上を図るとともに、レクリエーションインストラクター養成講習会受講者の現場実習の履修単位として開催した。

期 日 平成25年9月21日(土)

会 場 県総合スポーツセンター

参加者数 56人

エ) 生涯スポーツ講習会

健康・体カつくりスポーツ指導者及び愛好者を対象に、楽しめる新スポーツ等を紹介し、生涯スポーツの普及・振興を図った。

期 日 平成25年12月1日(日)

会 場 県総合スポーツセンター

受講者数 48人

(2) 総合型地域スポーツクラブ育成推進事業

地域に根ざしたスポーツクラブを育成し、日常の中で継続してスポーツを行う環境を整備するとともに、明るく元気な地域社会づくりを推進するため、未育成町村解消に向けての啓発活動や育成支援の相談・助言がいつでも受けられるよう知識と実績豊富なクラブアドバイザーを専門スタッフとして配置するとともに、地域の実情を把握するため現地に出向いてヒアリング等を実施した。

○創設支援クラブ数

1年目 2クラブ

2年目 1クラブ

○現地ヒアリング実績

対 象 クラブ全体

回 数 17回

○県内総合型スポーツクラブ育成状況

クラブ数 27市町村44クラブ

育成率 77.14%(27/35市町村)

2 スポーツの機会を提供する事業

(1) 教室・公開講座開催事業

県民に誰でも気軽にスポーツに触れる機会を提供することで、スポーツの楽しさと汗をかく爽快感を味わい、健康・体力の保持増進を図るとともにスポーツを通じて仲間の輪が広がることを目的に施設の特性を活かした各種教室、公開講座を開催した。

○テニス公開講座

期 日 平成25年4月17日～10月23日(計16回水曜日)9:30～11:30

会 場 県総合スポーツセンターテニスコート

延べ参加者 977人

○ナイターテニス公開講座

期 日 平成25年4月19日～9月20日(計17回金曜日)19:00～20:30

会 場 県総合スポーツセンターテニスコート

延べ参加者 744人

○初心者アイススケート教室

期 日 第1回 平成25年12月17日～20日(4日間)、第2回 平成26年1月21日～24日(4日間)

会 場 県総合スポーツセンターアイスアリーナ

参加者 第1回 33人、第2回 62人

○エンジョイ健康教室

期 日 前期 平成25年5月15日～7月27日、後期 平成25年9月4日～平成26年2月28日

水曜日・金曜日の午前と午後計114回

会 場 県総合スポーツセンターぐんまアリーナ

延べ参加者 520人

(2) 総合スポーツセンター管理運営事業

利用者の立場に立ち、スポーツを通して健康の保持増進、生き甲斐づくり、競技力向上の実現等多様なニーズに応え、安全で衛生的、省エネ環境に配慮した施設を提供した。また、この施設の「設置目的」を最大限に達成するため、管理運営上の基本方針、実施体制、利用促進策、維持管理・環境保護策等を的確に把握し、県民へのサービス向上と経費縮減に向け、総合的な実行性を持って運営に取り組んだ。

ア) 管理運営施設

群馬県総合スポーツセンター

本館、ALSOK ぐんまアリーナ、ぐんま武道館、弓道場、サブアリーナ、アイスアリーナ、テニスコート、ふれあいグラウンド、宿泊棟、スポーツ資料館、その他の付属施設

イ) 施設の活用

管理運営施設は、その設置目的である県民の体力増進、競技力の向上及びスポーツの普及振興に資するように、利用を促進するとともに、大規模催事の受け入れや実施事業との連携を図るなどして、効果的な活用を図った。

○ 大規模大会の利用状況

大規模大会名	利用日	利用者数
第13回空手道フェスティバル	4月29日	1,300 人
平成25年度昌賢学園親睦スポーツ大会	5月 2日	6,600 人
第4回関東甲信越クラブバスケットボール大会	5月3日～5日	3,000 人
関東甲信越競技ダンス大会	5月19日	3,000 人
第87回関東オープンテニス選手権大会ベテランの部	5月27日～31日	3,000 人
第57回関東高等学校弓道大会	5月29日～ 6月2日	800 人
2013年少林寺拳法群馬県大会	6月16日	1,500 人
東日本競技ダンス大会	6月23日	3,000 人
第103回関東医科学生弓道大会	6月29日	800 人
平成25年度日本学生選抜バスケットボール大会	7月 4日～ 7日	3,000 人
第3回スポーツマスターズ関東地区空手道競技大会	7月 6日～ 7日	2,000 人
サマーフォークジャンボリーinぐんま2013	7月12日～13日	5,500 人
第1回全国ベテランオープン卓球大会	7月15日	1,000 人
第44回関東中学校体操競技大会	8月 4日～ 9日	1,050 人
第38回関東中学校剣道大会	8月10日～12日	1,300 人
平成25年度群馬県戦没者追悼式	8月15日	1,600 人
第16回県小学校バンドフェスティバルマーチングコンテスト	8月16日	1,200 人
第6回上毛新聞社旗争奪高校剣道大会	8月19日～21日	1,500 人
第18回全国私立高等学校選抜バドミントン大会	8月27日～30日	1,200 人
第42回群馬県レクリエーション大会	9月 1日	1,950 人
第47回全日本社会人卓球選手権大会	9月 5日～ 8日	1,800 人
平成25年度関東ママさんバレーボール大会	9月15日	1,300 人
第30回県民スポーツ祭県グラウンド・ゴルフペア交流大会	9月18日～19日	2,000 人
第19回西関東小学校バンドフェスティバル	9月29日	2,500 人
第24回群馬県私立大学スポーツ大会	10月 5日～ 6日	2,000 人
第28回県スポーツ少年団ソフトテニス交流大会	10月12日	1,000 人
リレー・フォー・ライフ inぐんま2013	10月12日～13日	2,500 人
第9回上毛新聞社杯県GG交歓大会	10月17日	1,200 人
平成25年度四県農業大学校親善スポーツ大会	10月31日	800 人
東日本フィギュアスケート選手権大会	11月 1日～ 4日	1,500 人
全日本バレーボール高等学校選手権県予選	11月 2日	3,500 人
第51回群馬県民体育大会秋季大会	11月 3日・10日	2,500 人
第30回県民スポーツ祭ぐんまねりんピック2013	11月14日	2,000 人
群馬県体操競技選手権大会	11月16日～17日	1,000 人
第29回関東小学生バレーボール大会	11月23日～24日	2,800 人
群馬県都市部選抜中学校バスケットボール交流大会	12月 1日	1,700 人
エージレス体操群馬のつどい創立10周年	12月 7日	700 人

大規模大会名	利用日	利用者数
JM杯中学校選抜バスケットボール大会	12月21日～22日	1,000 人
第18回関東中学校オープンバドミントン大会	12月26日～28日	1,000 人
県中体連卓球部選抜強化大会	1月13日	1,100 人
県テニス協会MUFGジュニアテニストーナメント2014	1月13日	500 人
平成25年度関東クラブバスケットボール選手権大会	2月 1日～ 2日	1,200 人
第39回上毛新聞社杯ソフトテニスインドア大会	2月 9日	1,100 人
第67回上毛かるた競技県大会	2月 9日	1,500 人
第34回群馬県縄跳び大会	2月11日	4,500 人
第23回スポーツ少年団小学生柔道交流大会	3月 1日	2,400 人
第23回ミルクカップドッジボール選手権大会	3月17日	2,400 人
東日本中学校選抜剣道大会	3月22日～23日	2,000 人
JM杯高等学校バスケットボール大会	3月29日～30日	1,700 人

・利用者数

平成25年度利用者数は、ぐんまアリーナ265,795人、ぐんま武道館373,802人
サブアリーナ122,688人、本館45,043人、アイスアリーナ35,974人
テニスコート(会議室を含む)142,959人、ふれあいグラウンド78,504人
宿泊室5,184人、仮設アーチェリー場2,489人の合計1,072,438人であった。
月別等の内訳は別表のとおりである。

ウ) 施設設備の維持管理

施設及び設備は、適正な保守管理、業務の委託等により、円滑な運営と維持管理に万全を図った。

○ 大規模工事

群馬県スポーツ振興課の協力のもと下記工事を実施した。

工 事 名
ALSOKぐんまアリーナ自動制御機器リモートユニット交換工事
ALSOKぐんまアリーナ等消防設備(煙感知器)交換工事
多用途 筋機能評価 運動装置XPパソコン更新
ALSOKぐんまアリーナフロア床補修
ALSOKぐんまアリーナ音響設備パワーアンプ入替修繕
アイスアリーナB3ボイラー修繕
サブアリーナ折り畳み式バスケットゴール交換工事
消火栓ホース耐圧試験の実施
本館浄化槽計量槽交換工事
サブアリーナ雨樋堆積土除去及び清掃工事
アイスアリーナチラーユニット薬品洗浄
テニスコートA面人工芝補修工事
自動体外式除細動器(AED)6台交換設置

エ) 使用料の収納

施設使用料については、県の条例・規則に基づき利用者から徴収し、県の収入事務取扱要領に基づき適正な経理処理を行い、その全額を県に納付した。平成25年度の納付額は71,100,780円であり、内訳は別表のとおりである。

オ) 群馬県総合スポーツセンター施設無料開放

県民が、スポーツを身近なものとして日常生活に取り入れられるように、群馬県総合スポーツセンター施設の無料開放を次のとおり実施した。

1 総合スポーツセンター施設(アイスアリーナ以外の施設)

・県民スポーツの日(毎月10日)	利用者数	9,868人
・県民の日(10月28日)	利用者数	1,523人

2 アイスアリーナ

・開館初日(10月1日)	利用者数	92人
・県民の日(10月28日)	利用者数	415人
・開館期間中の毎月第2・第4土曜日(小中学生対象)	利用者数	2,655人

カ) 季刊誌の発刊

施設季刊誌「Sports Season」を年4回季節ごとに作成し利用者や来館者の利用性の向上を目的に施設の利用方法や大会予定、各種教室の紹介等を行った。

発行部数 NO.9号～NO.12号 各号 4,000部

(3) スポーツ情報提供事業

各種スポーツ事業の紹介やスポーツに関する情報を本協会ホームページ及び刊行物等で発信することにより、スポーツ活動に対する理解や協力を求めるとともに、スポーツへの興味関心を高め、県民により多くのスポーツの機会を提供した。

ア) ホームページの運営

本協会の組織や各種事業の紹介、また国民体育大会やスポーツ少年団各種大会等の結果を掲載するとともに、各種スポーツ教室等の開催要項や県総合スポーツセンター各施設の利用情報を掲載するなど広く県民にスポーツの情報を発信した。

本協会ホームページ閲覧数 1,072,289件

イ) 刊行物の発刊

刊行物として「ぐんまのスポーツ」、「年報」、名簿集(規程集)を発刊し、いずれの刊行物も無償で加盟団体及び関係団体に配布した。

刊行物名	内容	発行部数
ぐんまのスポーツ	事業紹介・各種大会の結果等(年2回) 第95号・第96号	650 部
年報	平成24年度の事業記録、事業報告や研究調査の成果等	700 部
名簿集(規程集)	加盟団体や組織概要及び諸規程等(隔年)	300 部

ウ) スポーツライブラリー

県総合スポーツセンター本館1階にスポーツ情報提供コーナーを設置し、スポーツ図書等を定期的に購入して、県民に対し無料閲覧及び無料貸出等の情報提供サービスを実施した。

スポーツ図書貸し出し数 7件

3 青少年スポーツの健全な育成に関する事業

(1) 青少年スポーツ育成事業

スポーツ少年団活動を通じて、そこから生まれる喜びや楽しさが新たな感動を呼び起こし、さらには協調性や想像性など、生きる上で基本となる豊かな情操を養う。また、スポーツを通じて社会のルールを学び相手を思いやる心を養うなど良き社会人への成長に結びつけることを目的に下記事業を実施した。

ア) スポーツ少年団大会開催事業

各種目を愛好するスポーツ少年団員を一堂に会し、技術の向上と競技の喜びを体験させるとともに、団員相互の親睦を図り、少年スポーツの健全な発展を目的として下記大会を実施した。

○ 第32回関東ブロックスポーツ少年団競技別交流大会 群馬県予選会

期 日 平成25年6月2日(日)～6月23日(日)

実施種目 軟式野球・空手道・バレーボール・ミニバスケットボール・バドミントン 計5種目

会 場 県総合スポーツセンター その他県内各会場

参加団員数 1,930人

○第49回群馬県スポーツ少年団大会

期 日 平成25年8月3日(土)・4日(日)(剣道は8月25日(日))

実施種目 サッカー・バレーボール・ミニバスケットボール・ソフトボール・卓球・柔道・剣道・レスリング

計8種目

会 場 県総合スポーツセンター その他県内各会場

参加団員数 2,336人

○群馬県スポーツ少年団競技別交流大会

期 日 平成25年4月7日(日)～平成26年3月8日(土)

実施種目 軟式野球・バレーボール・ミニバスケットボール・ソフトボール・サッカー・バドミントン・ソフトテニス・卓球・空手道・柔道・剣道・レスリング・スケート・スキー 計14種目

会 場 県総合スポーツセンター その他県内各会場

参加団員数 8,252人

○ スポーツ少年団全国・関東派遣事業

大会名	期 日	会場及び競技名(派遣者数)
関東ブロックスポーツ少年団 競技別交流大会	平成25年7月26日(金) ～28日(日)	茨城県水戸市 他 軟式野球(17人)・バレーボール(8人)・ミニ バスケットボール(男子15人、女子19人)・バ ドミントン(18人)・空手道(28人)
全国スポーツ少年団 バレーボール交流大会	平成26年3月22日(土) ～25日(火)	和歌山県和歌山市 バレーボール(11人)
全国スポーツ少年団 剣道交流大会	平成26年3月24日(月) ～26日(水)	石川県金沢市 剣道(8人)
全国スポーツ少年大会	平成25年7月26日(金) ～29日(月)	大分県佐伯市(11人)
関東スポーツ少年大会	平成25年8月22日(木) ～24日(土)	神奈川県相川町(2人)

1) スポーツ少年団顕彰事業

永年にわたりスポーツ少年団の発展に貢献し、特に顕著な功績のある単位団及び登録指導者を表彰した。
また、顕著な功績のあった者へ感謝状を贈呈した。

○ 功労者・優良単位団表彰式

期 日 平成26年3月9日(日)

会 場 前橋テルサ

受賞者人数 群馬県表彰 功労者52人、優良単位団28団体

日本本部表彰 功労者4人、市町村表彰3市町村、感謝状1人

ウ) 指導者養成事業

スポーツ少年団の育成指導にあたる指導者の資質向上と意識の高揚を図り、少年団活動におけるより一層の活性化を促進するため研修会・講習会を開催した。また、地域におけるスポーツ少年団活動の活性化を図るとともに、単位団及び地域の将来にわたる後継者の養成を目指し、日本スポーツ少年団リーダー制度に基づくジュニア・リーダーズスクールを開催した。

事業名		期 日	参加人数
講習会・研修会	日本スポーツ少年団 認定育成員群馬県研修会	平成25年7月13日(土) 県総合スポーツセンター	11 人
	群馬県スポーツ少年団 指導者研修会	平成25年8月25日(日) いぶき会館(高山村)	12 人
	群馬県スポーツ少年団 育成母集団研修会	平成25年8月31日(土) 昭和村公民館(昭和村)	30 人
	群馬県スポーツリーダー兼スポーツ少年団認定員養成講習会	平成25年10月26日～27日 安中市役所(安中市)	74 人
		平成25年11月16日～17日 榛東村南部コミュニティーセンター(榛東村)	69 人
		平成25年12月7日～8日 白沢町振興局(沼田市)	86 人
		平成25年12月21日～22日 関東学園大学(太田市)	46 人
群馬県スポーツ少年団 認定員研修会・再研修会	平成25年12月8日(日) 県総合スポーツセンター	92 人	
リーダー養成	スポーツ少年団リーダーズスクール	平成25年7月13日～15日 国立赤城青少年交流の家	28 人
	関東ブロックリーダー研究大会	平成25年11月2日～3日 国立赤城青少年交流の家	9 人

エ) スポーツ少年団フェスティバル

県下スポーツ少年団員を一堂に会し、交歓・ゲーム活動を通して、青少年のこころとからだを育てるとともに、団員相互の交流、及びお互いの連携と資質の向上を図り、少年スポーツの健全な発展に寄与することを目的とし、それぞれの少年団や地域において活躍のできる中学生・高校生リーダーの育成を図った。

期 日 平成26年3月16日(日)

会 場 県総合スポーツセンター

参加団員 201人

オ) 群馬県スポーツ少年団創設50周年記念事業

群馬県スポーツ少年団は昭和38年に創設され、本年創設50周年を迎えることから、この記念すべき節目に団員・指導者をはじめ、これまでスポーツ少年団の育成にご尽力いただいた方々とともに50周年を祝うため、記念式典等を実施した。また、橋本聖子氏を迎え特別講演を行った。

期 日 平成26年3月9日(日)

会 場 前橋テルサ

参加者数 350人

特別功労者顕彰受賞者 10人

特別講演 講師 橋本聖子 演題「スポーツをつじた地域づくりと人材育成」

4 各種大会を通じ社会参加を促進する事業

(1) 社会参加促進事業

スポーツによって、年齢や障がいの有無に関係なく誰もが生きがいのある豊かな生活を営むことが出来る社会の創造を目指し、下記の2つの大会を受託事業として開催し、高齢者及び障がい者の積極的な社会参加を押し進めることで様々な人との交流を図り仲間の輪を広げ、生きがいづくりと社会参加の促進を目的として受託事業として開催した。

ア) くまねんりんピック2013(県長寿社会づくり財団からの受託)

スポーツや文化活動を通じて、高齢者の健康の保持増進と交流を図り、県民総スポーツの輪を広げるとともに、生きがいづくりを進め、ふれあいと活力ある長寿社会づくりを推進した。

期 日 平成25年11月14日(木)

会 場 県総合スポーツセンター

対 象 県内在住の昭和29年4月1日以前に生まれた人で、大会参加に支障のない健康な人

種 目 ゲートボール、スマイルボウリング、ペタンク、ソフトボール、テニス、ソフトテニス、卓球、
グラウンドゴルフ、弓道、剣道、水泳、マラソン、なぎなた、太極拳、囲碁、将棋

参加者数 1,918人

イ) 群馬県障害者スポーツ大会2013(県障害者スポーツ協会からの受託)

障がい者がスポーツを通じて交流を深めながら、体力の維持増強と障がい者スポーツの発展を図るとともに、県民の障がい者に対する正しい理解と認識を深め、障がい者の自立と社会参加を促進した。

期 日 平成25年9月22日(日)・29日(日)・10月6日(日)

会 場 群馬県立ふれあいスポーツプラザ

対 象 13歳以上の身体障がい者

種 目 陸上競技、水泳、卓球、アーチェリー、フライングディスク、軽スポーツ

参加者数 722人

II 健康増進・体力向上に関する事業

5 県民体力づくり相談に関する事業

(1) 県民体力づくり相談事業

現代の生活環境では運動不足や食生活の変化、日常生活のストレスの増加により生活習慣病などの問題を抱える人が増えている。そのため、県民が健康で快適に生活できるように、安全で無理のない運動・スポーツ指導を行い、健康の保持増進・体力の向上が図れるよう「県民体力づくり相談事業」として、県民のスポーツニーズ(レベル)に応じた各種測定・メディカルチェック及び栄養指導を実施した。

ア) メディカルチェック・体力測定及び栄養指導の実施

健康体力測定では理学療法士、臨床衛生検査技師及び本協会のスポーツ医科学委員会に所属する内科・整形外科の日体協公認スポーツドクター等の専門家との連携及び協力により医科学的な検査を行った。さらに、栄養面では栄養調査結果から管理栄養士が、個々の食生活についてアドバイス・指導を行った。これらの結果に基づいた運動プログラムの作成や助言・指導をすることで県民の健康・体力づくりへの関心をより一層高めるとともに医科学面からも体力の向上や健康的な生活ができるようサポートを実施した。

○県民へのメディカルチェック・体力測定等の実績

測定の種類等	実施日数	測定者数	一般	競技者
健康・体力測定	4 日	92 人	8 人	84 人
新体力測定	14 日	817 人	814 人	3 人
体力測定	8 日	112 人	0 人	112 人
筋力測定	10 日	173 人	8 人	165 人
最大酸素摂取量測定	2 日	2 人	1 人	1 人
合計	38 日	1196 人	831 人	365 人

・体力測定用器具貸出件数13件

イ) 生活習慣病予防のための運動指導

平成20年度、厚生労働省が日本人の生活習慣の変化や高齢者の増加等により、生活習慣病の有病者・予備軍の増加に対して、生活習慣病予防のための新しい検診・保健指導を始めた。このようなことから、企業や高齢者団体に対して体力測定・運動指導を積極的に推進し、日常生活で身体活動をより一層取り入れ、生活習慣の改善を図り健康・体力の保持増進に努められるようアドバイスを行った。

ヘルスアップ教室 年12回 延べ参加者 201人

6 スポーツ医科学の普及に関する事業

(1) スポーツ医科学普及事業

県民が生涯にわたりあらゆる機会と場所において、安全にそして効果的にスポーツを行うことができるようにするため、薬物に対する意識を高め、スポーツ障(傷)害の予防と個々の診断に対する対処方法を指導し、自主的・自律的に適性や健康状態に応じてスポーツを行うことができるよう下記事業を実施した。

ア) アンチドーピング事業

国体選手を中心とした健全なスポーツ活動の推進を目的に、本県選手の薬物乱用・誤用防止の認識を高め、ドーピング防止教育・啓発活動を積極的に実施した。ドーピング防止の教育・啓発活動のための資料収集と情報提供、選手・指導者を対象としたドーピング関係書類の配布、アンチ・ドーピング推進班による会議の開催及び研修事業参加、国体結団式での選手・監督等への直接指導、ドーピングに関する問い合わせへの対応を行い、ドーピング防止の教育・啓発活動に努めた。

○ アンチ・ドーピング指導

期 日 平成25年8月9日(金)・30日(金)・9月18日(水)・平成26年1月7日(火)・23日(木)

会 場 県総合スポーツセンター他

実施対象 国民体育大会本県代表監督及び選手等

イ) スポーツドクター養成研修事業

スポーツ愛好者及び競技選手がスポーツ障(傷)害の予防や効果的に競技力向上が達成できるように、各診療分野の日体協公認スポーツドクターを養成する研修会を県医師会・医療機関と連携し実施した。また、県内のスポーツドクターの資質向上を図るため、スポーツドクター協議会と連携し、県内で開催する各種大会へ医事協力、定期的にスポーツドクター会員の研修会開催、県内地域で講演会講師の派遣等を実施しスポーツドクターの活動の充実を図った。

○スポーツドクター研修会

期 日 平成25年4月20日(土)

会 場 県総合スポーツセンター

参加者 74人

ウ) トレーナー養成講習会事業

スポーツ愛好者及び競技選手の健康管理、障害予防、スポーツ外傷・障害の救急処置、アスレティックリハビリテーション及びトレーニング、コンディショニング等の指導・助言を行い、競技力向上対策を効果的に行うため本協会認定アスレティックトレーナーの養成を実施した。

○アスレティックトレーナー養成講習会

期 日 平成25年11月21日(木)・22日(金)

会 場 県総合スポーツセンター

受講者数 10人

エ) スポーツ医事相談事業

県民が健康増進やスポーツに関わる障害等の早期発見、早期治療及びその予防方法等についての知識を深めることを目的として、電話等による相談を受付けて受診希望者からの相談内容(障害部位、地域等)により、県内の公認スポーツドクターや医療機関を紹介した。また、スポーツ医科学に関する講演会を日体協公認アスレティックトレーナー、医師、大学教授等の協力のもと、各市町村9会場において、「スポーツ医科学講演会」を実施した。

○医科学講演会の実績

実施市町村	期 日	演 題	受講者数
草津町	平成25年10月 3日(木)	傷害予防のためのストレッチ、体幹トレーニングについて	88 人
前橋市	平成25年10月 9日(水)	中高年のトレーニング(講義・実技)	58 人
藤岡市	平成25年10月18日(金)	青少年期のトレーニングについて	49 人
玉村町	平成25年10月25日(金)	スポーツの怪我の予防と処置(講義・実技)	60 人
長野原町	平成25年11月14日(木)	メンタルトレーニング	35 人
南牧村	平成25年11月15日(金)	自分のからだを知って、健康づくりに運動を取り入れよう!	25 人
館林市	平成25年11月20日(水)	青少年期のスポーツ傷害予防とスポーツ愛好者の膝・腰痛予防について	52 人
桐生市	平成25年12月 5日(木)	やる気にさせるコーチング法	75 人
渋川市	平成26年 2月 5日(水)	スポーツにおけるサプリメントやプロテイン等の効率的な活用法	100 人

○スポーツドクター紹介 174件

III 競技力向上を推進する事業

7 国民体育大会への選手等選考及び派遣に関する事業

(1) 国民体育大会等派遣事業

国民体育大会本大会及び冬季大会、関東ブロック大会において本県選手が活躍することは、県民へ感動と活力を与えるとともに、スポーツへの意識を高め、各種スポーツの普及振興にも寄与する。本県選手団が活躍するため、競技力の高い代表選手の選考及び開催地への派遣等諸事業を推進した。

ア) 選手・監督の選考、選手団等の派遣

各加盟競技団体の予選会を通過した優秀な選手の参加条件を確認後、国民体育大会推進委員会で選考し、本県代表として派遣した。

イ) 激励活動

国民体育大会の本県選手団本部として本協会会長を団長として現地へ赴き、激励活動、競技力分析等を県当局と連携しチーム群馬としての中心的活動を行った。

大会名及び事業名	期日	会場及び監督・選手数等
第68回国民体育大会 関東ブロック大会	平成25年6月2日(日)～12月22日(日)	神奈川県下 カヌー競技ほか33競技 (公開競技1競技含む)選手・監督704人
〃 本大会会期前	平成25年9月11日(水)～9月15日(金)	東京都下 水泳・ボート競技 選手・監督47人
〃 監督会議	平成25年9月18日(水)	総合スポーツセンター 第1研修室

大会名及び事業名	期日	会場及び監督・選手数等
結団式	平成25年9月18日(水)	総合スポーツセンター ぐんま武道館
本大会	平成25年9月28日(土)～10月8日(火)	東京都下 陸上競技ほか38競技 (公開競技2競技含む)選手・監督371人
第69回国民体育大会 冬季大会スケート・アイスホッケー	平成26年1月28日(火)～2月2日(日)	栃木県下 スケート競技選手・監督44人
冬季大会スキー	平成26年2月21日(金)～2月24日(月)	山形県下 スキー競技 選手・監督49人

ウ)成績

第68回国民体育大会成績

天皇杯 14位(得点 1036.5点) 皇后杯 11位(得点 602点)

第69回国民体育大会冬季大会成績

天皇杯 9位(得点 130点) 皇后杯 4位(得点 74点)

8 スポーツ指導者養成に関する事業

(1) 指導者養成事業

県民がスポーツへの関わり方に応じて安全で、正しく、楽しいスポーツができるよう、年齢、技能レベルに応じた適切なスポーツ指導のできる公認スポーツ指導員の養成を目的に日本体育協会と各関係競技団体と連携をして下記の講習会を実施した。

ア) スポーツ指導員養成講習会

地域スポーツクラブやスポーツ教室等において、参加者の年齢や性別など対象者に合わせた競技別の技術指導等にあたる者を養成する事業であり、日本体育協会がNHK通信講座を活用して共通科目を担当し、本協会が専門科目を委託事業として実施した。また、講習会・研修会を通じ、自己の役割や責任及び人道的問題(指導者の競技選手に対する暴力やセクシャル・ハラスメント等)について指導の徹底を図った。

○ 公認スポーツ指導員養成講習会(専門科目)

対象競技団体 軟式野球競技・ソフトボール競技・弓道競技

受講者数 76人

○ 公認上級スポーツ指導員養成講習会(専門科目)

対象競技団体 弓道競技・空手道競技

受講者数 60人

(共通科目)

期 日 平成25年12月14日(土)・15日(日)・21日(土)

会 場 県総合スポーツセンター

受講者数 66人

イ) スポーツ指導者研修会

公認スポーツ指導者制度の有効期限は4年間であり、4年毎に更新するための義務研修として開催するとともに、スポーツに関する最新の知識や情報を獲得し、指導場面で実践できるような資質を向上させることを目的として年2回実施した。

○ 第1回スポーツ指導者研修会

期 日 平成25年7月13日(土)

演 題 講演Ⅰ:「スポーツと栄養について」

講演Ⅱ:「スポーツ界の暴力行為根絶について」

参加者数 93人

○第2回スポーツ指導者研修会

期 日 平成25年11月16日(土)

演 題 講演Ⅰ:「現場における救急処置について」

講演Ⅱ:「スポーツ界の暴力行為根絶について」

参加者数 151人

9 競技力向上・選手強化対策に関する事業

(1) 競技力向上対策事業

県内のスポーツ選手が国際大会や全国大会で活躍することは、郷土意識を盛り上げ多くの県民に感動や活力を与えることになる。そこで、「ぐんまスポーツプラン2011」に基づき、本県が高い水準で安定した競技力を確保し、各種大会等において、優秀な成績を収めるため、経済的基盤の整備や指導者の確保、一貫指導体制の確立等に取り組み、本県の競技力向上の推進を図った。

ア) 選手強化対策事業

競技団体等の強化・育成事業の推進及び各競技団体・学校スポーツ団体の強化体制や強化組織の育成と競技力の向上を図るために団体対策費として各競技団体に補助金を交付した。

1 競技団体対策(加盟競技団体)

2 高校生対策(県高等学校体育連盟)

3 中学生対策(県中学校体育連盟)

4 70回国体冬季大会対策

イ) ぐんまスーパーキッズプロジェクト事業

県内の小学生を対象に、体力・運動能力に優れた人材を早期に発掘し、関係団体との連携・協力により、発育段階に応じた計画的・継続的な育成を図り、トップレベルの選手を輩出することを目的として事業を実施した。また、情熱ある指導者の養成と資質の向上を図るため、全国的に実績のある指導者の招聘や専門指導者を派遣した。

○ キッズプラン

実施競技及び人数

スキー競技22人・水泳競技9人・陸上競技30人・ソフトボール競技25人

・選考会

期 日 平成25年5月19日(日)

会 場 県総合スポーツセンターサブアリーナ他

参加者数 36人

・認定式

期 日 平成25年6月8日(土)

会 場 群馬大学教育学部C-201教室

認定者数 31人

・研修会

期 日 平成25年12月14日(土)

会 場 県総合スポーツセンターぐんまアリーナ他

参加者数 84人

○スタッフプラン

指導者支援事業

実施競技 陸上競技・水泳競技・ボウリング競技

・中央指導者招聘研修会

実施競技 アイスホッケー競技・陸上競技・テニス競技・体操競技・ソフトテニス競技・バドミントン競技・空手道競技・なぎなた競技・ゴルフ競技

ウ) 関東ブロック突破等対策プロジェクト

国民体育大会において男女総合成績10位台、1,100点を目標として国内最強といわれる関東ブロック大会を突破し、本大会8位以内に入賞するため、県内外において特別合宿等の実施や、チームに帯同するトレーナーやコーチの派遣及び、トップの指導者を招聘し、チーム群馬の競技力向上を図った。

チーム群馬チャレンジ事業 37競技団体、高体連29専門部

チーム群馬サポート事業 1競技団体

エ) マネジメントコーチ設置事業

全国・世界レベルの競技者を育成するために、各競技団体にマネジメントコーチを設置した。マネジメントコーチは「ぐんまスポーツプラン2011」の方向性に沿って各競技団体の組織・体制を整備し、競技力向上対策を企画・推進することによって、競技力の向上を図った。

○ 委嘱式

期 日 平成25年4月6日(土)

会 場 県総合スポーツセンター 第1研修室

委嘱者数 37人

○ 検討会議

期 日 平成26年2月8日(土)

会 場 県総合スポーツセンター 第1研修室他

参加者数 37人

オ) スポーツ医科学活用事業

競技力向上対策事業全般の評価・分析及び結果のフィードバック等を担当するスポーツ医科学スタッフの確保と活用を図るために、県総合スポーツセンターを医科学研究拠点として位置づけ、本協会強化指定選手及び指定競技団体の競技力向上を目指した各種測定やメディカルチェック、心理テスト等の研究を実施し、強化現場にフィードバックを実施した。

○ 本協会指定強化選手等のメディカルチェック・体力測定の実施

測定の種類等	実施日数	測定者数	成年	少年
健康・体力測定	16 日	235 人	53 人	182 人
体力測定	8 日	68 人	0 人	68 人
筋力測定	24 日	303 人	53 人	250 人
最大酸素摂取量測定	12 日	65 人	4 人	61 人
合計	60 日	671 人	110 人	561 人

○ 現地栄養指導及びフィードバックの実施

	実施団体	期日	会場	人数
栄養指導	高体連スケート	平成25年12月26日	榛名湖高原ホテル	62人
	健大高崎高校ソフトテニス	平成26年1月14日	高崎健康福祉大学 附属高崎高校	13人
フィードバック	健大高崎高校ソフトテニス	平成26年1月27日	高崎健康福祉大学 附属高崎高校	12人
	高体連陸上	平成26年2月1日	正田醤油スタジアム	18人

カ) 拠点施設活用事業

各競技団体が公共スポーツ施設等を活用した選手強化拠点を積極的に定め、一貫指導体制による全国トップレベルの競技者の育成を目的とした事業に対し、助成を行った。

団体名	拠点施設名	団体名	拠点施設名
県スケート連盟	県総合スポーツセンター 伊香保スケートリンク	県レスリング協会	大間々東中学校
県アイスホッケー連盟	県総合スポーツセンター 伊香保リンク・県総合ス ポーツセンター	県ソフトテニス連盟	県総合スポーツセンター テニスコート、あかぼり運 動公園テニス場
県スキー連盟	岩鞍スキー場・武尊牧 場スキー場	県弓道連盟	伊勢崎市あずま弓道場
陸上競技協会	県立敷島公園補助競 技場	県ラグビーフットボール協 会	下豊岡グラウンド、八千 代グラウンド、島村グラ ウンド
県水泳連盟	県立敷島公園水泳場	県カヌー協会	桃の木川カヌー艇庫
県ホッケー協会	みなかみ町月夜野緑地 施設内運動広場	県アーチェリー協会	県総合スポーツセンター 仮設アーチェリー場、前 橋市民体育館弓道場
県ボクシング連盟	安中市民体育館・伊勢 崎工業高校ボクシング ジム・高崎工業高校ボ クシングジム	県なぎなた連盟	新町児童体育館
県バレーボール協会	桐生大学グリーンアリー ナ(みどり市民体育館)		

キ) ジュニア育成事業

本県から全国大会や世界大会で活躍する競技者を輩出し、国民体育大会総合10位台を確保するために、その原石であるジュニア層のタレントの発掘・育成を推進し、一貫した強化体制の構築が必要であることから、情熱ある専門的指導者をジュニア選手の活動場所である運動部やクラブ等に派遣し、全国トップレベルのジュニア選手を育成して競技力の向上を図った。

団体名	活動場所	指導種目	指導者名
県スケート連盟	孺恋高等学校	スピードスケート	宮崎 麻衣
県アイスホッケー連盟	渋川工業高等学校	アイスホッケー	小原 卓郎
県スキー連盟	草津スキークラブ・草津中学校	スキー (ジャンプ・コンバインド)	薄井 智行
県スキー連盟	片品村立片品中学校	スキー(クロスカンтриー)	笠原 千裕
群馬陸上競技協会	前橋育英高校	陸上競技	根岸 佑弥
県テニス協会	群馬県テニス協会強化部・ジュニア部	テニス	松田 隼十
県山岳連盟	ウォールストリート前橋(クライミングジムオズ)	山岳(クライミング)	細野 かおり
県カヌー協会	館林商工高校	カヌー(スプリント)	柿崎 史穂

ク) 指導者養成(スポーツセミナー)

各競技団体、学校スポーツ団体で選手強化の中心的役割を果たす指導者を対象に、各競技に共通した情報や全国・世界のスポーツ情報を提供し、指導者の資質の向上を図ることを目的としてスポーツセミナーを開催した。

○ 第1回スポーツセミナー

期 日 平成25年6月29日(土)

会 場 県総合スポーツセンター第1研修室ぐんま武道館第1道場

演 題 講義Ⅰ:「ジュニア選手の指導や健康管理における留意点」
講義Ⅱ:「スポーツ活動上の予防と処置」

参加者数 117人

○ 第2回スポーツセミナー

期 日 平成26年3月1日(土)・2日(日)

会 場 去来荘(みなかみ町)

演 題 「世界で勝ち抜くために」

参加者数 114人

ケ) 中・高一貫強化対策検討会議

全国大会や国体並びに世界大会で活躍する本県選手の育成にあたり、長期展望に立った選手の育成を図り、中体連・高体連の運動部活動指導者間の連携を密にし、中・高一貫した強化システムを構築するため、検討会議を開催した。

期 日 平成26年3月18日(火)

会 場 県総合スポーツセンター第1研修室

参加者数 68人

10 競技力向上支援に関する事業

(1) 国体選手競技力向上支援事業

選手がオリンピックや、国民体育大会等の各種大会で好成績を収めることで、県民のスポーツへの興味関心を高め、夢と感動を与えるとともに元気で活気に満ちた社会の形成を図るため、第70回国民体育大会冬季大会に本県選手として活躍が期待できる現役トップアスリート2名の活動を支援した。

支援選手名	競技名	主な成績
佐々木 啓夫	(スキー)	朝日サマーコンバインド大会 優勝
鈴木 翔	(スキー)	第55回雪印メグミルク杯全日本ジャンプ大会6位

(2) 大会等支援事業

県民に各種大会等に参加の機会を提供することを目的に、各種大会の開催団体及び海外派遣選手に対し支援することで、スポーツの興味関心を高めスポーツの底辺拡大を図り、競技力向上に努めた。

ア) 海外派遣選手壮行補助事業

本県選手等が海外競技会(オリンピック・世界選手権・アジア大会)に参加することは、県民へのスポーツの興味関心を高めるとともに夢と感動を与えることから、海外競技会に参加する選手等に対し、壮行金を交付した。

大会名	交付者数
冬季ソチオリンピック出場者	4 人
世界選手権出場者	4 人
アジア競技会出場者	2 人

イ) 県小体研記録会補助事業

県小学校体育研究会が開催する陸上、水泳教室記録会開催のために補助金を交付し支援を行い児童のスポーツ普及・育成を図った。

○ 第43回小学生水泳記録会

期 日 平成25年8月8日(木)

会 場 県立敷島公園水泳場

参加者数 803人

○ 第42回小学生陸上記録会

期 日 平成25年10月28日(月)

会 場 正田醤油スタジアム群馬

参加者数 1,598人

ウ) 県民体育大会補助事業

県民を対象に開催している県民体育大会の実施競技団体に補助金を交付し大会の支援を行った。

大会名	期日	会場	成績及び人数	
夏季大会 (水泳)	平成25年8月18日(日)	県立敷島公園水泳場	優 勝	高崎市 参加人数 491人
秋季大会	平成25年11月3日(日)・10日(日)	前橋市ほか	市の部優勝 郡の部優勝	前橋市 吾妻郡 参加人数 6,282人
冬季大会 (スケート)	平成26年2月2日(日)	県総合スポーツセンター伊香保リンク	優 勝	渋川市 参加人数 226人
冬季大会 (スキー)	平成26年2月15日(土)・16日(日)	丸沼高原スキー場	豪雪のため中止	

(3) スポーツ顕彰事業

本県のスポーツの振興と発展に貢献した個人・団体の功績を讃え競技力の向上とスポーツの振興及び郷土意識の高揚に資することを目的として、下記の表彰を行った。

○ 群馬県スポーツ協会会長表彰

期 日 平成26年3月21日(金・祝)

会 場 県総合スポーツセンターぐんま武道館

受賞者数	特別功労者賞	1人	スポーツ功労者賞	50人
	最優秀選手賞	92人	最優秀指導者賞	16人
	優秀選手賞	288人	ジュニアスポーツ奨励賞	137人

IV 本協会の運営

1 評議員会等の運営

会議等名		回	期日	摘要
評議員会・理事会	評議員会(定時)	第1回	平成25年 6月14日(金)	平成24年度事業報告・収支決算及び評議員・役員 の選任等
	評議員会(臨時)	第2回	平成26年 3月26日(水)	平成25年度補正予算・平成26年度事業計画及び収 支予算並びに評議員の選任・役員の定数改定等
	理事会(通常)	第1回	平成25年 5月31日(金)	平成24年度事業報告・収支決算及び基本財産の指 定、各委員会委員長並びに副委員長の選出等
	理事会(臨時)	第2回	平成25年 6月14日(金)	副会長・理事長の選定及び各委員会委員等報告
	理事会(臨時)	第3回	平成25年 7月31日(水)	業務執行理事の選任(書面表決)
	理事会(臨時)	第4回	平成26年 1月16日(木)	協会長賞の表彰者選考及び役員の定数改定
	理事会(通常)	第5回	平成26年 3月19日(水)	平成25年度補正予算・平成26年度事業計画及び収 支予算等
委員 会	総務委員会	第1回	平成25年 5月23日(木)	平成24年度事業報告・収支決算及び各委員会委員 長、副委員長・シンボルマーク等
		第2回	平成25年 7月 4日(木)	加盟団体分担金・協会長賞推薦基準一部改定・県 生涯スポーツ表彰候補者推薦等
		第3回	平成25年10月25日(金)	加盟団体分担金・シンボルマーク等協議
		第4回	平成26年 1月16日(木)	協会長賞表彰者選考・役員の定数改定・スポーツ仲 裁規則・加盟団体申請等
		第5回	平成26年 3月18日(火)	平成25年度補正予算・平成26年度事業計画及び収 支予算等
	生涯スポーツ推進委員会	第1回	平成25年 6月20日(木)	日体協公認スポーツ指導者表彰等について協議
		第2回	平成26年 2月 5日(水)	生涯スポーツ指導者の活用について
	地域スポーツ推進委員会	第1回	平成25年 7月 9日(火)	健康スポーツ指導者バンク運営・総合型地域スポーツ クラブの育成・支援等
	選手強化委員会	第1回	平成25年 4月18日(木)	平成25年度競技力向上対策費前期配分、関東ブロ ック突破等対策プロジェクト事業配分
		第2回	平成25年 5月19日(日)	ぐんまスーパーキッズプロジェクト2013 キッズプラン選 手選考
		第3回	平成25年 6月19日(水)	国体参加基準、第68回国体関東ブロック大会支援ス タッフ派遣
		第4回	平成25年 7月11日(木)	平成25年度競技力向上対策費特別調整配分、第6 8回国体本大会等支援スタッフ派遣
		第5回	平成25年 9月 6日(金)	平成25年度強化指定選手及び運動部
		第6回	平成25年10月31日(木)	平成25年度競技力向上対策費後期配分及び第68 回国体成績
		第7回	平成26年 2月 6日(木)	ぐんまスーパーキッズプロジェクト2014 キッズプラン実 施競技団体及び予算
		第8回	平成26年 3月12日(水)	平成26年度競技団体競技力、競技スポーツ推進実 施計画、競技力向上対策事業計画

会議等名		回	期日	摘要
委員会	国民体育大会推進委員会	第1回	平成25年 6月25日(火)	平成25年度事業について
		第2回	平成25年 8月 9日(金)	第68回国民体育大会本大会第1次選手団決定等
		第3回	平成25年 8月30日(金)	第68回国民体育大会本大会第2次選手団及び選手団旗手決定等
		第4回	平成26年 1月 7日(火)	第69回国民体育大会冬季大会スケート・アイスホッケー競技会選手団決定等
		第5回	平成26年 1月23日(木)	第69回国民体育大会冬季大会スキー競技会選手団決定等
	スポーツ医科学委員会	第1回	平成25年 7月 3日(水)	平成25年度事業計画及び専門委員等
諸会議等	加盟団体理事長・強化担当・事務担当者合同会議		平成25年 4月19日(金)	平成25年度事業計画及び予算、その他諸事業について
	監事監査		平成25年 5月28日(火)	平成25年度監事監査
	本協会関係者親睦ゴルフ大会		平成25年 7月22日(月)	群馬県スポーツ協会関係者親睦ゴルフ大会
	第1回加盟団体分担金検討会		平成25年 8月 1日(木)	加盟団体分担金見直し検討会
	第2回加盟団体分担金検討会		平成25年 9月 5日(木)	加盟団体分担金見直し検討会
	第68回国民体育大会反省会		平成25年11月 8日(金)	第68回国民体育大会の反省と今後の強化について
	平成26年新年懇親会・受賞祝賀会		平成26年 1月 8日(水)	前橋テルサ
	平成26年度競技力向上対策事業選手強化担当者会議・第69回国民体育大会冬季大会反省会		平成26年 3月 5日(水)	第68回国民体育大会の反省に基づく第69回国民体育大会への課題と強化対策、及び平成26年度競技団体競技力調査について

2 事務局の運営

(1) 関係団体との連携

ア) 加盟団体及び群馬県知事部局スポーツ振興センターとの連携

イ) 群馬県スポーツイベント誘致委員会との連携

(2) 本協会が実施する事業推進のため、自主財源の確保に努めた。

ア) 賛助会員の募集実績

86件 1,615,000円

イ) 第70回国民体育大会冬季大会に向けての選手競技力向上事業における寄附金の募集実績

30件 8,000,000円